

黒岩淚香 くろいわなみ

新聞記者、翻譯家。文久二年九月二十九日生佐國生

れ、大正九年十月八日没（公三十一九〇）。本名周六。筆名一學生、一

臣民、一記者、不言生、世象學人、一童居士、京橋邊人、人の家主人、

冷眼子、冷眼居士、冷血生、初代止調庵、刻堂居士、半七半商人、南

柯生、南枕隱士、危堂居士、古概、古概居士、古概生、古概處士、嘯

月、喜中生、天人論の著者、好今市隱、委員、寸歌、小淚、小淚生、

嵩互樂、瀟士生、瀟庵、瀟瀟生、瀟生、瀟菴、瀟菴生、局外生、待堂、

志仁堂主人、忠言生、悲歌狂生、愛宕居士、愛鷗、戢兵、戢兵學人、

鉦大、鉦大生、敬堂、文藝子、新島邊人、白堂、昂鐵、春蹊、月來庵

生、月來庵生、月地閑人、朝報子、朝報社同人、桃鶯、樂在、樂在巾

隱、樂在處士、正調庵、民鐵、民鐵生、江戸兒、沈冥、沈冥子、治安

房慨士、淚生、淚香外史、淚香子、淚香小史、淚香生、淚香陳人、淺

草寒士、湘江漁夫、火舟漁夫、片岡信、理想團有志總代、理想團臨時

委員、蓋世、絞生、素堂、編者、羽箒子、甚夢生、艾人黑天、蟬野、

街史、超然子、鐵假面の淚香、鐵唇、鐵唇道人、鐵扇子、鐵民、隈溪、

青山生、靜處士、香亭瓶化、香骨子、香骨居士、香骨生、高山互樂、

高山四庵、高山生、高木樂山、高臥、魘哭子、魔道道人、黒岩代、黒

岩大、黒岩所適、黒岩樂在、黒岩民鐵、黒岩淚香子、黒岩生、黒岩香

骨、齒月生、S・K等。大正英法語學校の學心、慶應義塾を中退。諸新

聞小探偵小説の翻譯・翻譯を發表。明治二十五年付

ら『萬朝報』紙を創刊、暴露記事や新機軸の紙面を

人氣を得、東京を最大發行部數の新聞となつた。



譯著書、クワツケンガ大著『雄辨美辭法』（黒岩大名、選譯述、再板。

明治十五年九月一日興論社)、裁判『人耶鬼耶』(譯、明治二十一年

十一月四日小説館)、銀行『大盜賊』(聖岩代名、譯、明治二十二年

四月十日金櫻堂)、銀行『他人の錢』(内題「銀行他人の錢」譯、明治二十二年

十一月五日小説館)、ヤシナ、カセリン、グリーン作『眞ッ暗』(譯、

明治二十二年十一月二十日出版、二十二年一月一日發賣、金櫻堂)、

『美人の獄』(丸亭素人共譯、明治二十二年八月二十五日金櫻堂、今古堂)、

『人外境』(譯、上編、明治二十年一月二十日、中編、五月十八日

扶桑堂)、『雪姫』(譯、明治二十六年八月一日扶桑堂)、シモン、

ニウカム作英知對譯『科學小説暗黒星』(譯、明治二十七年九月七日朝報社)、

『精力主義』(第十一版、明治二十八年十月一日隆文館)、『人生問

題』(本名、丙午出版社、高島米峰編、明治二十九年四月二十日丙

午出版社藏版、丙午出版社、未發『聯珠真理』(一名五とく並べ先手

全勝法』(高山互樂名、明治二十九年七月二十日朝報社遊技部藏版、

樂世冠)、『人尊主義』(本名、明治四十三年四月二十四日新橋書

店)、『小野小町論』(大正二年七月七日朝報社)、『予が婦人觀』

(本名、大正二年七月十日丙午出版社「大正文庫」)、『實行論』(同、

大正四年六月二十日廣文堂書店)、『縮刷漢香集』(譯、8『非小説』

大正七年九月二日、13『人外境』九年十一月二十日、14『ボヤッペー

作』巨魁來』十年三月二十日扶桑堂)、『社會と人生』(本名、大

正八年一月二十日正善堂書店)、『漢香名作撰集』(里見公村編、

大正十年十一月五日大阪・岡本増進堂)、ハエロツテ、ウエブル大作

『八十萬年後の社會』(譯、改版第壹版、大正十五年十一月十五日扶

桑社)、『小野小町論』(昭和五年七月十日春秋社「春秋文庫」)、

- フランク、ペリット作『山と水』(譯、昭和五年五月十一日、明文館書店)、  
 『山と水・後篇』(昭和十一年一月十日、春陽堂書店)、  
 ヴェル・ユージュ作『憶無情』(譯、昭和十二年十一月二十五日、明文館書店)、  
 『鴛の娘・後篇』(昭和十五年二月二十九日、博文館「博文館文庫」)、  
 『武士道』(ドイツ語・エマニエル「怪の物」) (譯、昭和十五年十一月十日、明文館書店)、  
 『人外境』(譯、昭和十六年四月二十日、明文館書店)、  
 『嬢一代』(譯、昭和十七年六月十日、明文館書店)、  
 『探偵小説』『決闘』(内題「決闘の果」譯、昭和十八年五月一日、大川屋書店)、  
 『黒岩深香傑作選』(譯、オータレキサンドル・デュマ作『巖窟王』モンテ・クリスト伯・上巻) (昭和二十二年十一月十五日、  
 『幽霊塔』) (二十四年四月二十五日、愛蔵書房) 等。